

いっしょに読もう！

新聞コンクールの応募促進
について考える



東京都立芝商業高等学校
主任教諭：林 敏昭

本日の流れ

1. 新聞記事の読み方
2. 出典は大事
3. 実践事例
4. 質疑応答

本日の流れ

1. 新聞記事の読み方

2. 出典は大事

3. 実践事例

4. 質疑応答

新聞記事の読み方

～芝商業高等学校編～



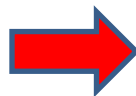
作成者: 日比谷高等学校 学校司書 関根真理氏
編集: 芝商業図書館

新聞とは

日本や世界のニュースだけでなく、生活に関わるものや、様々なジャンルの情報がまとめられている。

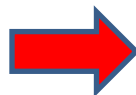
連載小説、4コママンガもあり(サザエさん)

テレビニュースとの違い



テレビより遅いが、読み返しが出来る。

ネットニュースとの違い



公正な立場で編集されている。
間違いがあったら訂正する。

新聞 6紙

芝商業図書館にあります。

日本経済新聞以外は3ヶ月分保管、日本経済新聞は1年分保管

朝日新聞

日本経済新聞

読売新聞

産経新聞

毎日新聞

東京新聞

新聞1面

新聞

基本的に毎日、朝刊と夕刊が発行される。
日曜・祝日は夕刊なし
月に1度新聞休刊日あり



新聞名

日付（日付は一番上にも記載あり）

朝刊 (朝刊とは書いていない)

夕刊

トップ記事

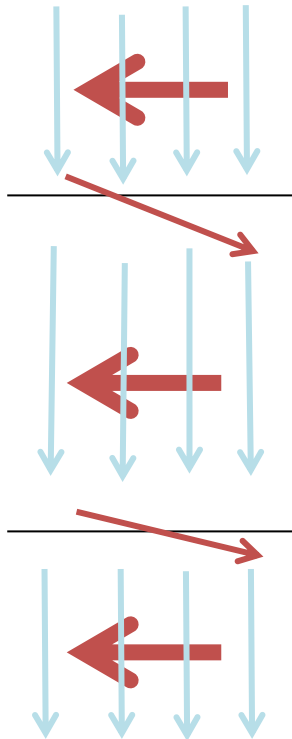
その日のトップ記事は
新聞によってちがう

新聞記事の見方

4.本文

と、その読み方

縦書きが基本。上段 右から左へ
↓の順番に



地球温暖化が止まらない
海水上昇の影響は



シロクマは
どうなるの
か・・・

気候変動の影響なのか、世界各地で異常気象が続いている。北極圏では気温が上昇し、氷がすべて溶ける事態も懸念されている。

「いま私たちが出来ることは何か」

気候変動
温暖化加速

1.見出し①

2.見出し②

3. リード文

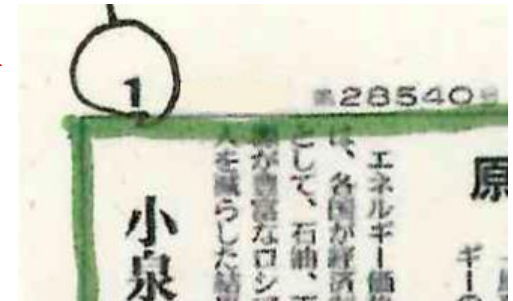
見出しやリード文を読めば、本文を読まなくても大体の内容がわかる。

何面にどんなジャンルの記事が載っている？

朝日新聞 ある日の朝刊を例に

- 1面……トップニュース
- 2・3・4面……総合
- 5面……国際 世界情勢
- 6・7面……経済
- 8・9面……金融情報
- 10・11……オピニオン（読者や識者の意見）
- 12・13……スポーツ
- 16・17……地域・東京
- 19……生活
- 21……教育
- 22……文化
- 23……社会・総合
- 24・25……社会（事件・事故）
- 26……テレビ欄

○面



曜日によって、医療・科学・働く・
読書・環境などの面がある。
新聞によっても多少違う。

朝刊

量が多い (26~40ページくらい)

あらゆるジャンルの記事
が盛りだくさん

夕刊

量が少ない (8~12ページくらい)

身近な記事や
娯楽的な記事も多い

注意！

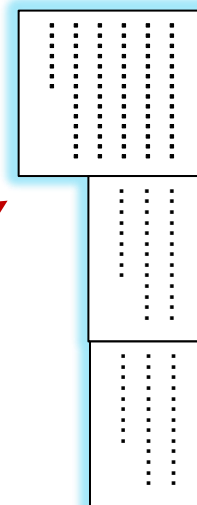
記事っぽい
広告もある



紙面上部に
【全面広告】と書
いてあります

切り抜くときに必ず
何新聞 何月何日 何面 か、
メモをしておきましょう。

こんな形の記事
もあるので
要注意
その記事の
終りはどこ？



本日の流れ

1. 新聞記事の読み方
- 2. 出典は大事**
3. 実践事例
4. 質疑応答

新聞コンクールとは



第13回
いっしょに読もう！
新聞コンクール

日本新聞協会は、今年も「いっしょに読もう！新聞コンクール」を実施します。
家族や友人といっしょに記事を読み、感想・意見などを書いて、
記事とともに応募いただく新聞感想文コンクールです

【応募締め切り】
2022年
9月7日(水)
必着

1 新聞を読む

2 記事を決めよう

3 記事を読んで
考えたことを書こう

4 家族や友だちに
意見を聞こう

5 まとめよう

6 応募しよう

対象 小・中・高校・高等専門学校生

募集要項

2021年9月8日～2022年9月6日の新聞から興味を持った記事を切り抜き、家族や友だちにも見せて意見を聞いたうえで、すべて自分で記入しよう！

※応募用紙はNIEウェブサイト（<https://nie.jp>）からもダウンロードできます。コピーやモノクロ印刷しても構いません。

※学校からの応募は、団体応募用紙と一緒に送ってください。

※団体応募用紙は各地域のNIE窓口またはNIEウェブサイトからダウンロードください。

※応募にあたり、先生向けの申し込みをNIEウェブサイトに掲載していますので、ご参照ください。

●応募・問い合わせ先/応募対象の新聞は裏面をご覧ください●

賞

優秀賞賞 [小・中・高校（高専）別に各1篇（計3篇）]——賞状・記念盾・図書カード3万円

※優秀賞受賞者は、2022年12月（予定）に行う表彰式に出場いただきます

優秀賞 [小・中・高校（高専）別に各10篇（計30篇）]——賞状・記念品（オリジナルグッズ）

奨励賞 [100～120篇程度を予定]——賞状・記念品（オリジナルグッズ）

優秀学校賞 [小・中・高校（高専）別に各5校]——賞状・記念盾

学校奨励賞 [一定の基準を満たした学校に贈賞]

※結果発表は12月中旬に新聞紙面、NIEウェブサイトにて行います

主催：一般社団法人日本新聞協会
後援：文部科学省、公益社団法人全国学校図書館協議会、公益社団法人日本PTA全国協議会、公益財団法人文学・活字文化推進機構、日本NIE学会、全国新聞教育研究協議会

記入事項

※必須項目（○の付いた項目）は必ず記入してください。未記入部分がある場合は審査対象としません

・学校単位で応募する場合は、団体応募用紙を付けてください。△印の項目は空白でもかまいません

・個人応募の場合は、必須項目とあわせて△印の項目も必ず記入してください（入賞の際は、ご自宅と学校に連絡します）

ふりがな

○ 名前 (男・女)

○ 学校所在地の都道府県

○ 学校名

○ 学年 年 ○ 記入日

※併設校・一貫校は、「中1」など校種の別が分かるよう学年を記入してください

△ 学校の所在地 〒 年 月 日

△ 学校の電話番号

△ 自宅の住所 〒

※個人応募の場合のみ記入してください

△ 自宅の電話番号

○ 選んだ新聞記事の見出し

○ 新聞名 (対象は2021年9月8日～2022年9月6日の新聞です)

(月 日付) (朝刊・夕刊・こども新聞)

※朝刊・夕刊・こども新聞の別を○で囲んでください

○ 意見を聞いた人の名前 (本人との関係)

※記事の切り抜きとあわせて送ってください

※個人情報の取り扱いについて
いただいた個人情報は、入賞通知等、当コンクール事業に関してのみ使用し、他の目的で使用することはありません

※入賞作の著作権は日本新聞協会に帰属します。NIE等をPRする各種制作物、ウェブサイトおよびイベントなどに利用するほか、加盟各社の新聞をはじめとする各種媒体に掲載することがあります

※応募作は原則として返却しません

応募作ID

(この欄には何も記入しないでください)

日本新聞協会
第13回 いっしょに読もう！新聞コンクール

応募用紙

小学生 中学生 高校生 高等専門学校生 その他

学年 () 年

応募作ID: (※この欄には何も記入しないでください)

◇ 2021年9月8日～2022年9月6日の新聞から選んだ記事を家族や友だちにも見せて、意見を聞いたうえで、すべて自分で記入しよう！

◇ 鉛筆はHB以上を使って、濃く丁寧に書こう！

◇ 以下のけい線内に収めてください。決められた文字数を大幅に超えた場合は、原則審査対象としません

① この記事を選んだ理由と、記事を読んで思ったこと、考えたことを書いてください (150字～200字以内)

② 家族や友だちなどにも記事を読んでもらい、その人の意見を聞きとって書いてください (150字以内)

記入例 母は「○○」と書いていました。／父の意見は○○です。

意見を聞いた人 父・母・兄・弟・姉・妹・祖父・祖母・友人
その他 () ※当てはまる区分を○で囲んでください

③ 話し合った後のあなたの意見や提案・提言を書いてください (300字～400字以内)

ここ忘れやすいです

本日の流れ

1. 新聞記事の読み方
2. 出典は大事
- 3. 実践事例**
4. 質疑応答

ビジネス科

ビジネス科では、地域や企業と連携をして
ビジネスを実地に学ぶ機会を設けます

段階的な学習で基礎から
着実にステップアップ



1年生
東京のビジネス

「ビジネス基礎」の授業で、東京都独自の教材を用いて東京のビジネスに関する基礎的な知識を、調査・研究を通して習得します。



2年生
ビジネスアイデア

ビジネスに関する課題の発見と解決を図る学習を通して、マーケティングをはじめとする商業に関わる様々な専門的な知識や、情報活用の技術を習得します。



3年生
課題研究

1、2年生で習得したビジネスに関する様々な知識と、情報活用の技術、課題解決の手法等を利用して、ビジネスに関する課題を自ら設定し、その解決を図る学習を行います。



希望進路の実現!

進学

ビジネス科で学んだビジネスに関する基礎や、専門的知識・技能を土台として、更に専門性を磨き、学びを深めます。

就職

ビジネス科で学んだビジネスに関する基礎や、専門的知識・技能を活かして就職します。

本日のテーマ

これまでの活動事例から
「総合的な探求の時間」の
新聞活用について考える

2020年度（マーケティング）



2020年度(フードデザイン)



紙面から食をめぐる問題を考える

2020年度（人間と社会）



2020年12月 体育館



2021年度(ビジネスアイデア)



2021年度（課題研究）



2022年度(総合実践)



2024年度の活動

日付:2024年7月12日

対象:1年生175名

内容:1限…新聞の読み方

2限…SDGs講演

3限…ふせんの共有

4限…新聞コンクール

A photograph of a classroom during a lesson. A male teacher stands at the front, speaking into a microphone. Students, wearing light blue uniforms, are seated at desks, facing the teacher. A large projection screen at the front displays a presentation slide with Japanese text and icons. A smaller screen on the left shows a news article.

2024年度(人間と社会)



今後の授業

2年生…ビジネスアイデア
→情報の収集方法を習得

- 紙の新聞の活用
- 朝日けんさくくんの活用

改めて商業高校のカリキュラム

ビジネス科では、地域や企業と連携をして
ビジネスを実地に学ぶ機会を設けます

段階的な学習で基礎から
着実にステップアップ



1年生
東京のビジネス

「ビジネス基礎」の授業で、東京都独自の教材を用いて東京のビジネスに関する基礎的な知識を、調査・研究を通して習得します。



2年生
ビジネスアイデア

ビジネスに関する課題の発見と解決を図る学習を通して、マーケティングをはじめとする商業に関わる様々な専門的な知識や、情報活用の技術を習得します。



3年生
課題研究

1、2年生で習得したビジネスに関する様々な知識と、情報活用の技術、課題解決の手法等を利用して、ビジネスに関する課題を自ら設定し、その解決を図る学習を行います。



希望進路の実現!

進学

ビジネス科で学んだビジネスに関する基礎や、専門的知識・技能を土台として、更に専門性を磨き、学びを深めます。

就職

ビジネス科で学んだビジネスに関する基礎や、専門的知識・技能を活かして就職します。

本日の流れ

1. 新聞記事の読み方
2. 出典は大事
3. 実践事例
4. 質疑応答

ご清聴いただき
ありがとうございました